

2/10 (木) 国体でのおもてなしに

市役所で、寄附贈呈式が行われ矢板市建設業陸会の萩原会長から50万円の目録が手渡されました。これは、市内建設事業者の有志で構成される同会が、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため親睦行事を自粛するなか、行事費の一部を今年10月に開催される「いちご一会とちぎ国体」において、本市PRに役立ててほしいと寄附されたものです。齋藤市長は「道路の環境整備に活用し、全国からお越しになる選手や関係者の皆さんを万全の体制でおもてなしできるようにしたい」と感謝を述べました。



▲(左から) 齋藤市長、矢板市建設業陸会萩原会長・渡辺副会長・新野副会長

2/22 (火) 林業・木材産業の発展に

市商工会館で、「第1回矢板木材安定需給協定会議」が開催されました。初会合となるこの会議は、昨年9月に「矢板地域の森林資源の持続可能な利用を推進するための木材の安定需給に関する協定」の現協定者である市ならびに市内5事業者と、同協定に賛同し1月下旬に新たに加入した市外の木材利用3事業者が参加して行われ、会議終了後に公開勉強会も開かれました。齋藤市長は「協定事業者と連携し、矢板の林業・木材産業の持続的な発展につなげていきたい」と話されました。



林業・木材産業の成長産業化に向けた公開勉強会の様子

【参加者による記念撮影】



▲(左から)
・たかはら森林組合 高瀬室長
・高原林産企業組合 白石社長
・(有) 東林 東泉社長
・齋藤市長
・(株) イーカム 小林工事部長
・(株) トーセン 兼
・(株) 那珂川バイオマス 東泉社長
・(有) マルハチ 渡邊社長
・物林 (株) 大真理事

3/5 (土) 高原山を火事から守る

道の駅やいたで、山火事予防を呼びかける啓発活動が市と塩谷広域行政組合消防本部との合同で行われました。この活動は、令和4年春季火災予防運動・山火事予防運動期間中に合わせて行われ、啓発チラシなどの配布のほか、昨年2月に発生した足利市の両崖山での大規模な山火事の様子を紹介するパネルが展示されました。同消防本部担当者は「山火事の多くは、たき火やたばこなど人的不注意が原因。春を迎え高原山などへの入山者が増えるが、入山の際は火気に注意してほしい」と話していました。



3/7 (月) まちづくりの事例を学ぶ

市商工会館で、「栃木県まちなか元気会議 矢板市タウンミーティング」が開催されました。これは、栃木県と本市が共催し、中心市街地活性化を目的に行われたものです。当日は、2024佐賀国体の施設整備に携わる(株)ワークヴィジョンズの西村 浩氏から「スポーツ施設を核としたまちづくり」、市都市計画審議会委員の田中 佑朋氏から「新しい矢板駅デザインのアイデア」に関する講演が行われました。受講者は「ハード・ソフトの一体的な整備によるまちづくりの大切さを学ぶことができた」と感想を話していました。

